

平成23年 春の叙勲

本年度の春の叙勲受賞者が発表され、日高町内から、松平恭司さん（豊郷）が旭日双光章、三浦範己さん（本町西）が瑞宝単光章を受章されました。

○ 旭日双光章（地方自治功労）

松平 恭司 さん

日高町字豊郷（71歳）



昭和54年4月に門別町議会議員に初当選。以来平成18年3月の合併まで旧門別町議会議員、合併後の同年4月から平成22年4月まで、日高町議会議員として通算8期30年10か月にわたり在職され、この間2度にわたり議会議長を務めるなど、地方自治の発展に大きく貢献されました。在職中は、道営競馬トレーニンングセンターの競馬場化や門別温泉とねっこの湯、門別国保病院の新築など多くの事業推進のため積極的に取り組まれ、町の発展に大きく寄与するとともに、町議会の円滑な運営に尽力されました。

○ 瑞宝単光章（防衛業務功労）

三浦 範己 さん

日高町本町西（62歳）



昭和45年10月に陸上自衛隊北海道補給処日高弾薬支処に事務官等職員として入隊。以来、補給科回収係、総務科厚生、出納、部隊補給係、技術科整備係、資材係などを歴任し、整備係長、整備班長の職を全うされました。三浦さんは、「在職中に受けた武器学校での半年間の研修が思い出。自分の職務の使命や目的を理解することができた。職務を全うしたことが評価されてうれしい。職場の皆さんを代表していただいと理解しています」と話されました。



東日本大震災医療支援のため岩手県へ 門別国保病院から支援チーム派遣

6月7日、北海道医師会からの要請を受け、5月23日から1週間、岩手県山田町で医療支援を行った門別国保病院の医療チームによる報告会が、同病院内で開催されました。

医療チームは、吉田優一医師ほか3名の医療スタッフで、山田町に到着後は、同町保健センター内の仮設救護所で他の医療チームと連携して活動を行いました。

報告会場に集まった病院スタッフ約50名を前に吉田医師は、派遣が決定してからの情報収集や宿泊場所の確保に苦慮した事、現地での活動に関する課題などを報告し、今後の活動に向けて提言しました。



廣木英明さんが消防庁長官賞を受賞 長年の安全管理に対する功績を評価

日高西部危険物安全協会会長、廣木英明さんが、平成23年度消防庁長官表彰(危険物保安功労者)を受賞されました。

廣木さんは、市町村合併の際には門別、日高両危険物安全協会を統合し日高町危険物安全協会を発足、初代会長に就き、危険物施設事故防止と協会の発展に貢献され、長年にわたっての危険物施設の安全管理、災害防止や保安体制の確立などに御尽力されることが評価されました。

廣木さんは、「多くの皆さんの支援のおかげ、この表彰に恥じないよう今後も危険物による災害防止に全力を尽くします」話していました。



台風災害を乗り越え「シバザクラ」満開 「夢が叶った」緑町の岡和田さん宅

町内緑町の岡和田則顕さん宅の庭に咲くシバザクラが5月下旬に満開を迎えました。

岡和田さんは夫婦で古くからシバザクラを植え、毎日丁寧に手入れを行っており、今年もきれいな花を咲かせました。

最近では、新聞報道で知ったという観光客がわざわざ訪ねてくるようになったと言います。

岡和田さんの妻、洋子さんは「平成15年の大雨で、ほとんどの根が流されてしまった。もうダメかと思いましたが、まだ生きている根を植え替えていくうちに、またきれいな花を咲かせてくれるようになった。前のように咲かせたいという夢が叶いました」と話していました。



平成22年度日高町体育協会スポーツ表彰 卓球の斉藤さん、スキーの田ヶ谷さん受賞

6月8日、平成22年度の日高町体育協会表彰式が日高町総合町民センターで行われました。

今年度は、「平成22年度北海道卓球選手権大会」で見事全道一となる優勝を果たすなどの活躍をした斉藤ゆみさんと、「第60回全国高等学校スキー競技選手権大会北海道予選会」で女子大回転で10位に入賞する活躍をした田ヶ谷美香さん(代理)のお二人に対し、スポーツ表彰を授与しました。受賞者を代表して、斉藤ゆみさんが、「これからも皆さんの期待に応えられるよう精一杯努力します」と挨拶しました。